

試験開始を前に答案用紙などが配られた小樽商科大の会場



樽商大2次試験 652人挑む 前期日程

2023年度国立公立大学入試前期日程の2次試験が始まった25日、小樽商科大でも受験生が挑んだ。交通機関の乱れや試験のトラブルはなかった。

同大によると、志願者724人のうち実際に受験したのは652人。倍率は昼間コース(定員280人)で前年度と同じ2.2倍、夜間主コース(同20人)で同0.5倍増の5.1倍だった。

同大の正門前では受験生が緊張した表情で試験会場に向かった。構内には応援団が作成した「いざ行かん商大へ 諸君らの健闘を祈る!」と激励するメッセージボードが掲げられたほか、学生団体がJR小樽駅で同大までの道案内などを行った。

試験は同大のほか仙台市内の会場でも実施し、合格発表は3月6日。

(久慈陽太郎)

